

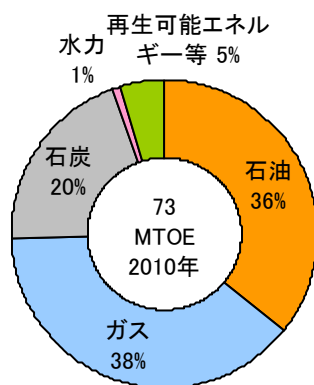
1-8 マレーシア

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 73 百万 TOE (日本の 0.16 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 2.56TOE (日本の 0.71 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 118%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 185 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 16.2%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2010年) : 6.51CO₂ 換算 ton (日本の 72.6%)
- (6) エネルギー源別可採年数(2011年末) : 原油 28.0 年、天然ガス 39.4 年、石炭 n/a

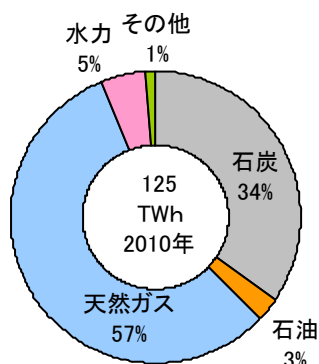
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Malaysia

(出所) IEA, Energy Balance of Non-OECD Countries. 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Malaysia

(出所) IEA. Energy Balance of Non-OECD Countries. 2012 edition.

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- マレーシアのエネルギー政策は、首相府直轄の経済計画局（EPU）が管轄しており、石油、ガス、電力等の監督機能は EPU やエネルギー委員会がその任に当たっている。

(2) 基本政策

- 持続的な経済成長を維持していくため、安定的で廉価なエネルギー資源を国内市場へ供給することを基本政策としている。このため、エネルギー供給源の多様化、エネルギー資源の有効利用、および環境保護の 3 点をその基本理念としている。石油については国内資源温存政策を採る一方で、海外での探鉱開発戦略を展開しており、天然ガスについても、積極的な開発プロジェクトを展開している。

(3) 最近の動向

- マレーシア政府は、補助金負担軽減のため、2011 年 6 月 1 日よりガス及び電気料金の引き上げを行った。Tenaga Nasional Berhad (TNB)によると、6 月 1 日より発電用ガス価格は 10.70 Malaysian Ringgit（以下 MYR）/mmBtu から 13.70 MYR/mmBtu へ上がり、TNB が支払うガス代金は年間 15 億 MYR 増加。このため TNB は電気料金を引上げることとし、政府は基本電気料金 2%の引き上げに合意した（平均電気料金 7.12%の上昇となる）。
- 2012 年 6 月、Petronas はカナダの Progress Energy Resources を買収することで合意した。2 社は前年、British Columbia 州でのシェールガス開発とカナダ西部に位置する LNG 輸出施設の開発を共同で行うことで合意している。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本はマレーシアから石油および LNG を輸入している。2011 年度におけるマレーシアからの石油輸入は日本の総輸入量の僅か 0.7%である。他方、LNG の輸入量は 1,513 万 ton と総輸入量 8,318 万 ton に占める比率は 18.2%と同国産 LNG の日本における役割は大きい。
- マレーシア通産省が発表した 2011 年貿易統計によると、対日輸出が前年比 20%増の 799 億 MYR（約 2 兆円）と急増。主力の LNG 輸出が同 34%増の 344 億 MYR に膨らんだ。一方、日本の対マレーシア貿易収支は 146 億 MYR（約 3,650 億円）の赤字に転じた。
- 2012 年 5 月、伊藤忠商事はマレーシアの石油化学コンビナートの新設プロジェクトへの参画を発表した。Petronas などと事業化調査を始めることで合意。2016 年の生産開始を目指し、総事業費 200 億 US\$の約 4 割を占めるとみられるエチレンや合成樹脂のプラント事業に参加する。

2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	73 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	2.56 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.42 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	118 %
(5)	エネルギー起源 CO ₂ 排出量	185 百万 CO ₂ 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量	6.51 CO ₂ 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	20 %
	石油	36 %
	ガス	38 %
	原子力	0 %
	水力	1 %
	再生可能エネルギー等	5 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-18 %
(9)	石油の輸入依存度	-32 %
(10)	輸入原油の中東依存度	— %
(11)	原油輸入先	
	第1位	—
	第2位	—
	第3位	—

(出所) (1)～(4) および (7)～(9) は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition.
(5)～(6) は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012 Edition.